
春、瞬殺

シャー芯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

春、瞬殺

【Nコード】

N5425K

【作者名】

シャー芯

【あらすじ】

.....

久しぶりに乗ったブランコ。

花粉症の私と桜で涙止まらない。

春、瞬殺。

地球は青かったって、宇宙飛行士。

私は日本人で、髪も瞳も真っ黒なんだけど。

それは関係ないか。

広く、広い世界。 掌に収まる世界を描いた地図。

無数の星を呼ぶ無数の名前。

私は無知の極地。

春の伊吹が、脳内を掻き回す。

春つらの今日、明後日、明明後日。

その頃にはみんな忘れてる。

春眠暁を覚えずって、強がりだよね？

だって、貴方には覚える頭がない。

ほら、それすらも忘れてる。

冬空に桜が息吹、春風に散って逝く、近代環境。
かなしきかな、歴史かな？

君と、僕はいつも、いつまでも上の空。

知っていても、知らなくても、知らんぷり。
同意をすることで、自分を偽るなんて。

それが社交餌隷でしょう？

削ぎ落とした髪は近所で燃やされた。
何にも無くなった頭で、外を歩く。

静かに、そつと誰も気付かぬように。

春風、散った腐った桜の花弁。 土生臭い、じつとり冷や汗。
寒いな、もう春なのに。 足が震える。

春、瞬殺。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5425k/>

春、瞬殺

2010年10月11日11時18分発行